



|              |   |
|--------------|---|
| Title        | 大学の知を発信する：デジタルリポジトリとその周辺  |
| Author(s)    | 土出, 郁子  |
| Citation     |   |
| Version Type | VoR   |
| URL          | <a href="https://hdl.handle.net/11094/14136">https://hdl.handle.net/11094/14136</a> |
| rights       |   |
| Note         |   |

*The University of Osaka Institutional Knowledge Archive : OUKA*

<https://ir.library.osaka-u.ac.jp/>

The University of Osaka

# 大学の知を発信する: デジタルリポジトリとその周辺

平成22年度愛媛大学図書館学術講演会  
2011.02.14 @愛媛大学図書館 4F3閲覧室

土出郁子(大阪大学附属図書館学術情報整備室)



# もくじ

- 機関リポジトリとは何か
- 共同リポジトリ (ShaReの報告書から)
- 機関全体の事業とするために
- 業務の実際
  - ちょこっとしくみ
  - 著作権

# 機関リポジトリとは何か



# 機関リポジトリとは何か

物理的には：

- Webサーバ+DB+リポジトリシステム
- OAI-PMHに対応
- 本体(object)とメタデータとを格納
- メタデータのみSPにハーベストされる
- システムには世界共通のものもある

# 機関リポジトリとは何か

ひとまず

後回しでOK

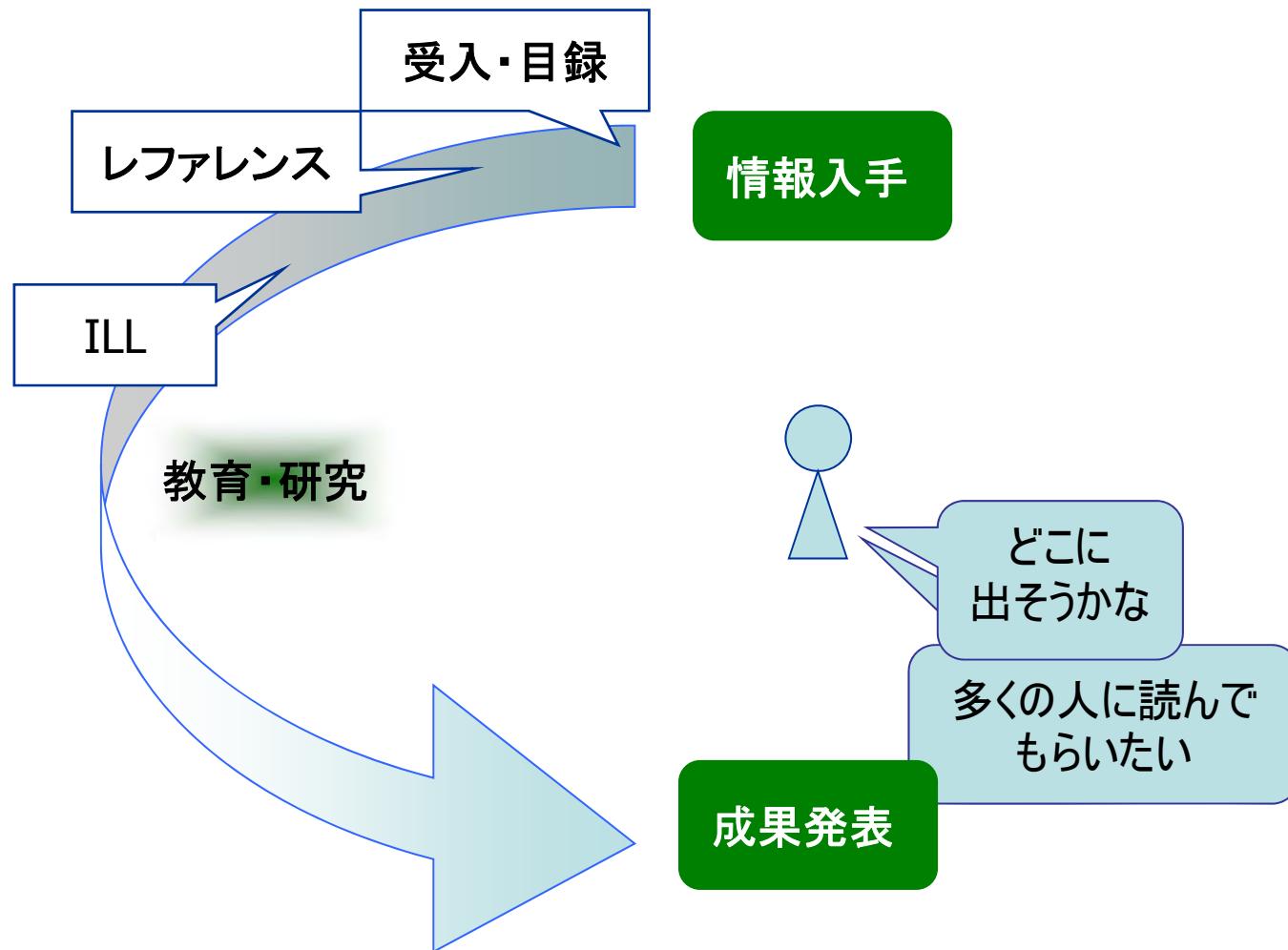
# 機関リポジトリとは何か

意義は：

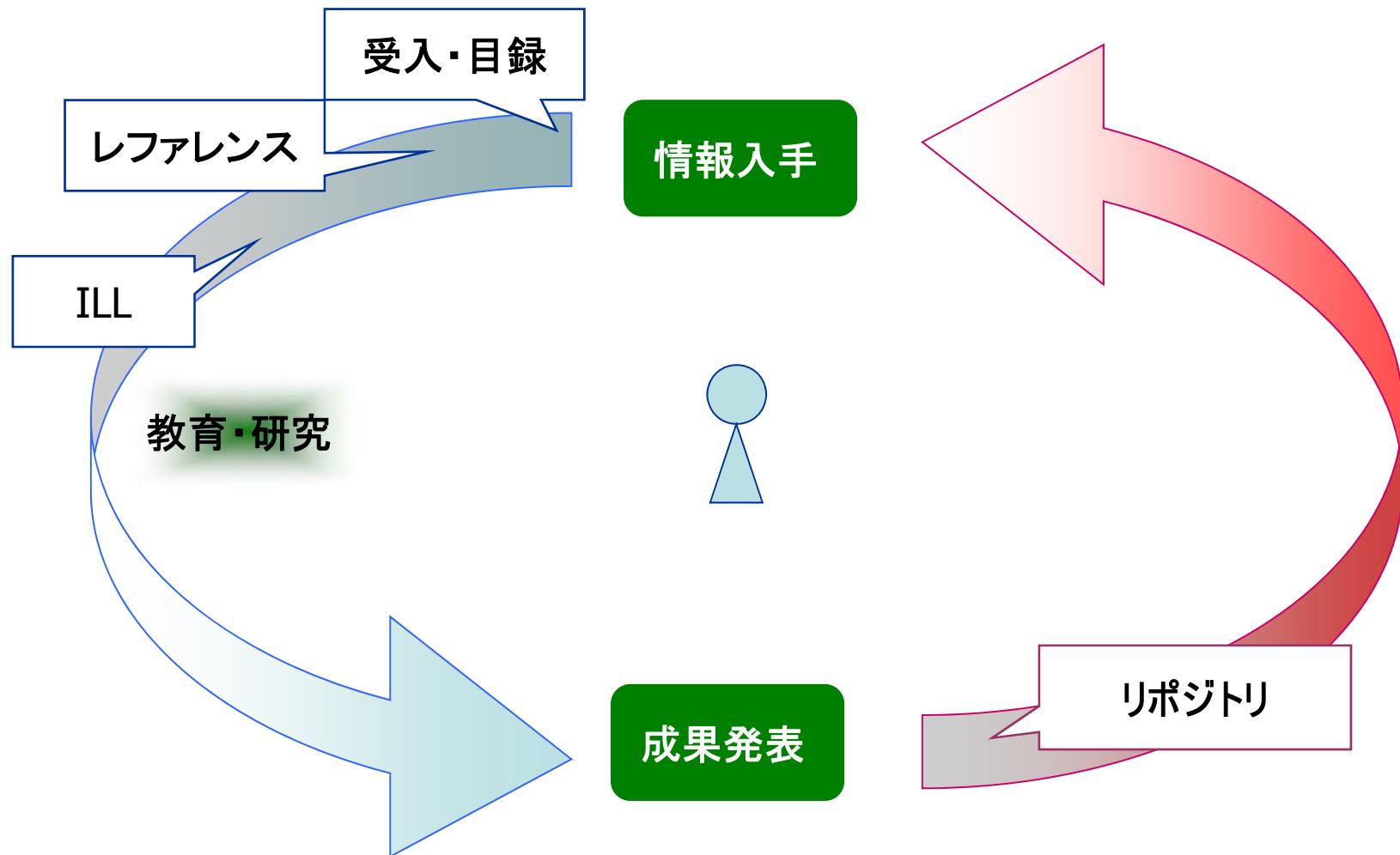
- ☺ 機関内の**学術成果**(教育・研究)を集めて**発信**
- ☺ Web上で電子的に提供
- ☺ **無料**, **本文まで利用可**, **永続的**
- ☺ 機関内の**発信者**のための**サービス**



# とある先生のサイクル



# Repository helps you



ホーム

インターフェイスの  
人文学について

最新情報

研究集合  
フォーラム

特集

その他の活動

Login

Interface Humanities

全学大学院生のた  
Newsletter大阪大学21世紀COEプログラム「インターフェイスの人文学」は  
2007年3月31日をもちまして補助金交付期間が終了いたしました。

シリーズ「科学と社会」

インターフェイスの人文学とは

インターフェイスの人文学とは  
リーダーごあいさつ  
研究概要  
21世紀COE科目  
研究テーマ紹介  
参加メンバー  
「研究集合」宣言  
お問い合わせ

## 研究テーマ

トランスナショナリティ研究

世界システムと海域アジア交通

イメージとしての〈日本〉

言語の接触と混交

モダニズムと中東欧の藝術・文化

臨床と対話

## とあるプロジェクトの運命

more info ▾

## Topics

- ????????????????????????at????????????????? (3.?????????)
- ??85????????????????????? (1.?????????????)
- ????????????? (2.?????????????)
- ??84????????????????????? (1.?????????????)
- ????????????????????????????????? (3.?????????)
- 2006????9?????????????????????(MOE)??? (5.?????????????)

お問い合わせ | リンク集 | FAQ | 旧作業用ページ(学内限定)

Page Top

ホーム

インターフェイスの  
人文学について

最新情報

研究集合  
フォーラム

特集

その他の活動

Login

Interface Humanities

全学大学院生のた  
Newsletter大阪大学21世紀COEプログラム インターフェイ  
2007年3月31日をもちまして補助金交付期間が終インターフェイスの人文学とは  
リーダーごあいさつ

研究概要

21世紀COE科目

研究テーマ紹介

参加メンバー

「研究集合」宣言

お問い合わせ

Error!

ファイルがありません。

Error 404

[文学研究科のTOP pageへ](#)  
[サイトマップへ](#)

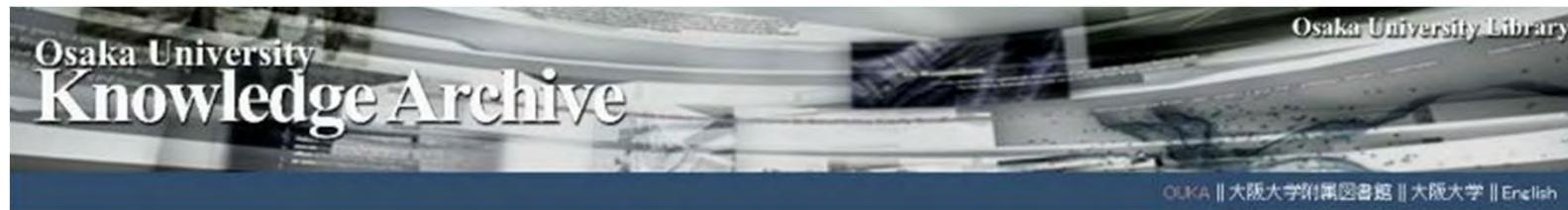
## Topics

- ????????????????????????at????????????????? (3.?????????)
- ??85????????????????????? (1.?????????????)
- ????????????? (2.?????????????)
- ??84????????????????????? (1.?????????????)
- ????????????????????????????? (3.?????????)
- 2006????9?????????????????????(MOE)??? (5.?????????????)

[お問い合わせ](#) | [リンク集](#) | [FAQ](#) | [旧作業用ページ\(学内限\)](#)

Top

# Repository saves you



## 大阪大学21世紀COEプログラム 「インターフェイスの人文学」報告書 2002–2006

2002–2003年度

1. 岐路に立つ人文科学 薩田, 清一 他
2. 場を越える流れ (トランシショナリティ研究) 小泉, 潤二 他
3. シルクロードと世界史 森安, 孝夫 / 坂尻, 彰宏
4. イメージとしての「日本」-日本文学翻訳の可能性 伊井, 春樹
5. 言語の接触と混交 : 日系ブラジル人の言語の諸相 工藤, 真由美 他
6. 映像人文学 山口, 修 他
7. 臨床と対話 : マネジできないもののマネジメント 中岡, 成文 他

2004–2006年度

1. 岐路に立つ人文学 薩田, 清一 / 中岡, 成文
2. 人文学討議空間のデザインと創出 若手研究集合
3. トランシショナリティ研究 小泉, 潤二 / 粟本, 英世
4. 世界システムと海域アジア交通 桃木, 至朗
5. イメージとしての「日本」 伊藤, 公雄 / 金水, 敏
6. 言語の接触と混交 工藤, 真由美 他
7. モダニズムと中東欧の藝術・文化 園府寺, 司
8. 臨床と対話 中岡, 成文

2005年度(若手研究集合)報告書 (若手研究集合)報告書編集委員会

臨床と対話 : 第5回対話シンポジウム 稲葉, 一人 / 家高, 洋

越境 / モダンアート 園府寺, 司

Interface Humanities Data Book 2004–2006

# 何を入れるか

- 機関の教育・研究成果ならなんでも
  - 既に他で出版・流通されているもの
    - 学術雑誌論文
    - 一般雑誌論文
    - 紀要
    - 単行書
    - ⋮

# 何を入れるか

- 機関の**教育・研究成果**ならなんでも2
  - いわゆる「灰色文献」
    - 学位論文(博士, 修士)
    - 学会・シンポジウムの**予稿集**, 資料, 会議録
    - **学内研究**プロジェクト報告書, 関連資料
    - 科研費報告書
  - ：

# 何を入れるか

- 機関の教育・研究成果ならなんでも3
  - 従来の出版流通にのらなかつたもの
    - 学際領域の新規ジャーナル
    - 教材，テキスト
    - 出版社から「採算が取れないので出せない」といわれた専門書
    - ⋮



## ■ HiR注目コンテンツ

トップページ > HiR注目コンテンツバックナンバー > 第1回

### 第1回 Monographシリーズ



理学研究科 化学専攻 分  
山崎勝義 教授

#### 概要

理学研究科化学専攻の山崎勝義教授が執筆された物理化学分野の化学の学習過程において生じた疑問点を攻略するというスタンスで、化学に興味のある多くの人にぜひお勧めしたい本です。

#### 山崎先生からの紹介文

Monographシリーズの各書は、物理化学の基本事項を深く正しく理解するための教科書です。基本事項の中には、初学者だけでなく研究者にさえ難解なことがあります。それらがなぜ難解なのか、どうして誤解しやすいのか、ということは困難です。そもそも教科書は、「書かれていることを理解すべき」であり、読者が感じる難解さを著者も感じたことがあるとか、読者と同じであるというような、読者と著者による「疑問の共有」が成立していく必要があります。たとえば、著者が示す問題や誤解の経験を示すと同時に、解決目標を明確にしつつ、どのように疑問を“攻略”したのかを記した解説書があれば、理解へ向かうのではないかと考えたことが、Monographシリーズの執筆に至ったのです。主な対象読者は大学院学生ですが、学部学生でも最前線の研究でいただける方であれば全員が対象読者です。

## ■ Monographシリーズ一覧

- 電磁気学における単位系
- 成分と基底の変換の相違点：群論と行列力学の基礎を理解するために
- 物体の速度と物質波の速度： $E=h\nu$ の本質的理解
- 磁気モーメントとg値
- 歳差運動の物理学
- Clebsch-Gordan係数と射影演算子
- 化学反応速度理論の徹底的理解：微視的可逆性から遷移状態理論まで
- 遷移状態理論の基本仮定：遷移状態理論導出過程の理解
- 熱力学第2法則と状態関数：自発過程と最大仕事
- 発光分光スペクトルによる振動緩和速度定数決定法
- 発光スペクトル強度と励起分子数の関係
- Coulomb相互作用による2電荷の運動
- Pauli原理とSlater行列式
- 衝突頻度と平均自由行程
- 有効Lennard-Jonesポテンシャルの極値問題
- Jahn-Teller効果とRenner-Teller効果の統一理解
- 化学ポテンシャルと平衡定数
- 統計熱力学における古典統計と量子統計の関係
- 対称性低下法による電子状態のterm決定法
- Wigner-Witmer相關則の導出
- 球対称点群( $K_n$ )の直積と対称積・反対称積
- 核交換操作と核スピン統計
- Born-Oppenheimer近似と断熱近似

# 日本の学術情報政策

- 2009年:『大学図書館の整備及び学術情報流通の在り方について(審議のまとめ)』
  - 「日本の機関リポジトリ数は世界のトップクラス」
  - 「より一層充実推進させるべし, 大学事業としての位置づけ, 図書館での業務定着, 維持管理」
- 2010年:『大学図書館の整備について(審議のまとめ)-変革する大学にあって求められる大学図書館像』

# 2010.12『大学図書館の整備について (審議のまとめ)』より

機関リポジトリは、研究者自らが論文等を登載していくことにより学術情報流通を改革するとともに、その公開の迅速性を確保するものである。

それと同時に、大学等における教育研究成果の発信を実現し、社会に対する教育研究活動に関する説明責任の保証や、知的生産物の長期保存などを図る上でも、大きな役割を果たすものである。

# 2010.12『大学図書館の整備について (審議のまとめ)』より

大学としての情報戦略の下で、大学図書館が、学内外の**知の集積拠点**であり、そのアクセスの窓口として機能する

# リポジトリをもつ理由

## 著者の発信支援

学際/複合領域・新たなコミュニティとの交流、研究者としての可視性向上

## Serials Crisis 対抗

雑誌高騰による学術情報寡占への反対

## Open Access

## 灰色文献の可視化

会議録、シンポ資料、各種報告書

## 機関の説明責任

教育、研究の成果公開  
一般社会への貢献

# 共同リポジトリ

## ShaReの報告書から



# みんなで作ろうリポジトリ

**ShaRe** (Shared Repository -シェア-)

国立情報学研究所学術機関リポジトリ構築連携支援事業  
平成20-21年度委託事業領域2プロジェクト 「共同リポジトリ:モデルの構築と普及」

update 2010.4.14

**●目的**

現在、日本で運用されている機関リポジトリは予算や人的資源の豊富な比較的大・中規模機関が数多くを占めていますが、今後、日本で生産される学術情報を網羅的に発信するためには、中小規模の学術機関でも機関リポジトリを構築し、運用することでオープンアクセスの裾野を広げることが最も大きな課題であると考えられます。中小規模の機関では、費用や労力をシェアできる共同リポジトリが機関リポジトリの構築・運用にとって有効な手段の1つであることは、先行例からも明らかです。本プロジェクトは、共同リポジトリのシステムと運用モデルの改善・構築、および担当者育成を行うことで、複合的な視点から共同リポジトリの構築・運用を支援し、共同リポジトリを全国規模で普及させることで、日本国内でのオープンアクセスの推進に寄与することを目的とします。

**●担当機関**

広島大学(主担当機関)  
山形大学  
新潟大学(平成21年度)  
埼玉大学  
文教大学(平成21年度)  
福井大学(平成21年度)  
岡山大学  
広島工業大学  
山口大学(平成21年度)  
長崎国際大学  
琉球大学(平成21年度)  
北海道大学(DRF)  
千葉大学(DRF)  
金沢大学(DRF)  
大阪大学(DRF)

**●成果物**

共同リポジトリプロジェクト報告書

NII学術情報リポジトリ  
構築連携支援事業



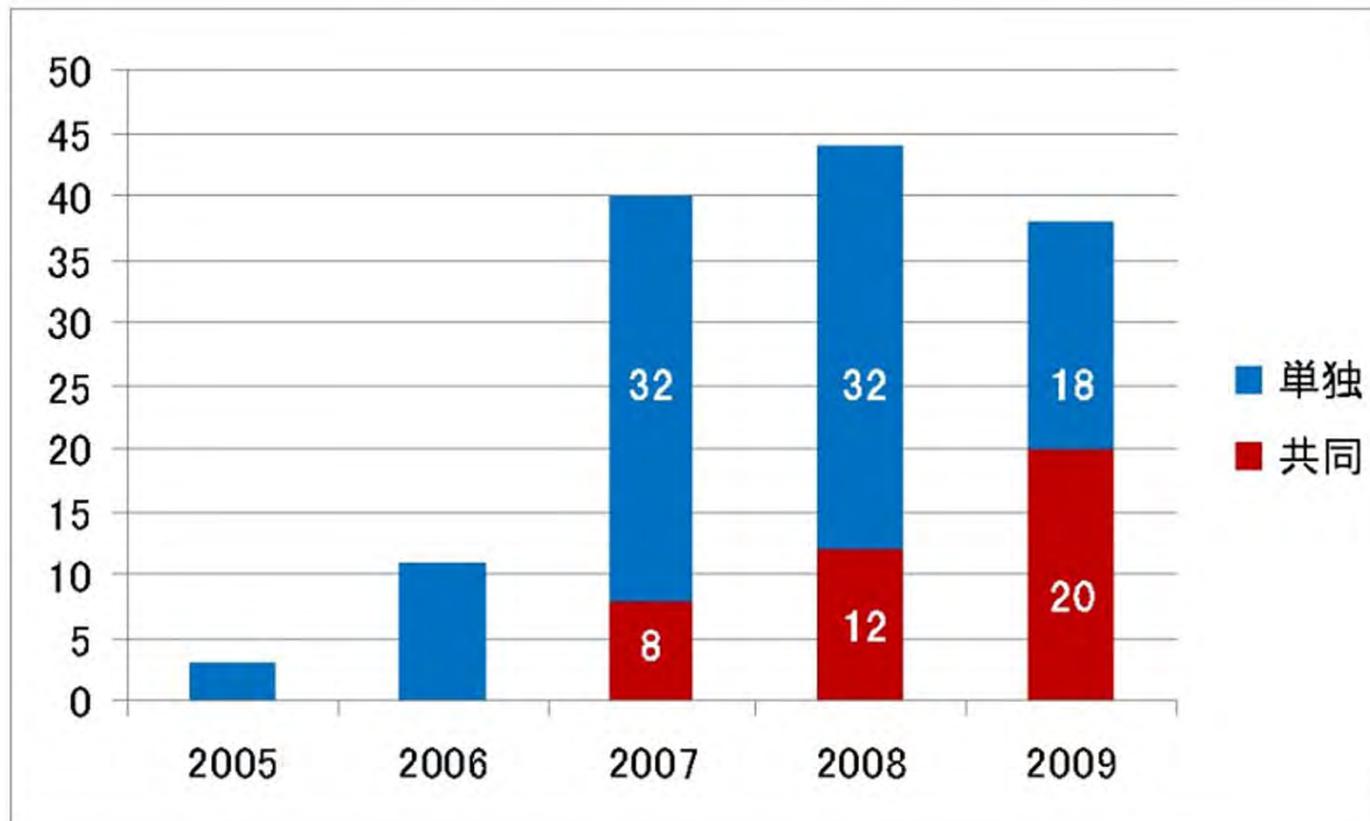
## (地域)共同リポジトリ

現在、国内に8つ(9つ目の青森県域  
が試験公開中)

<http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/share.html>

# 共同リポジトリの現在

図 1-1 機関リポジトリの年間構築数

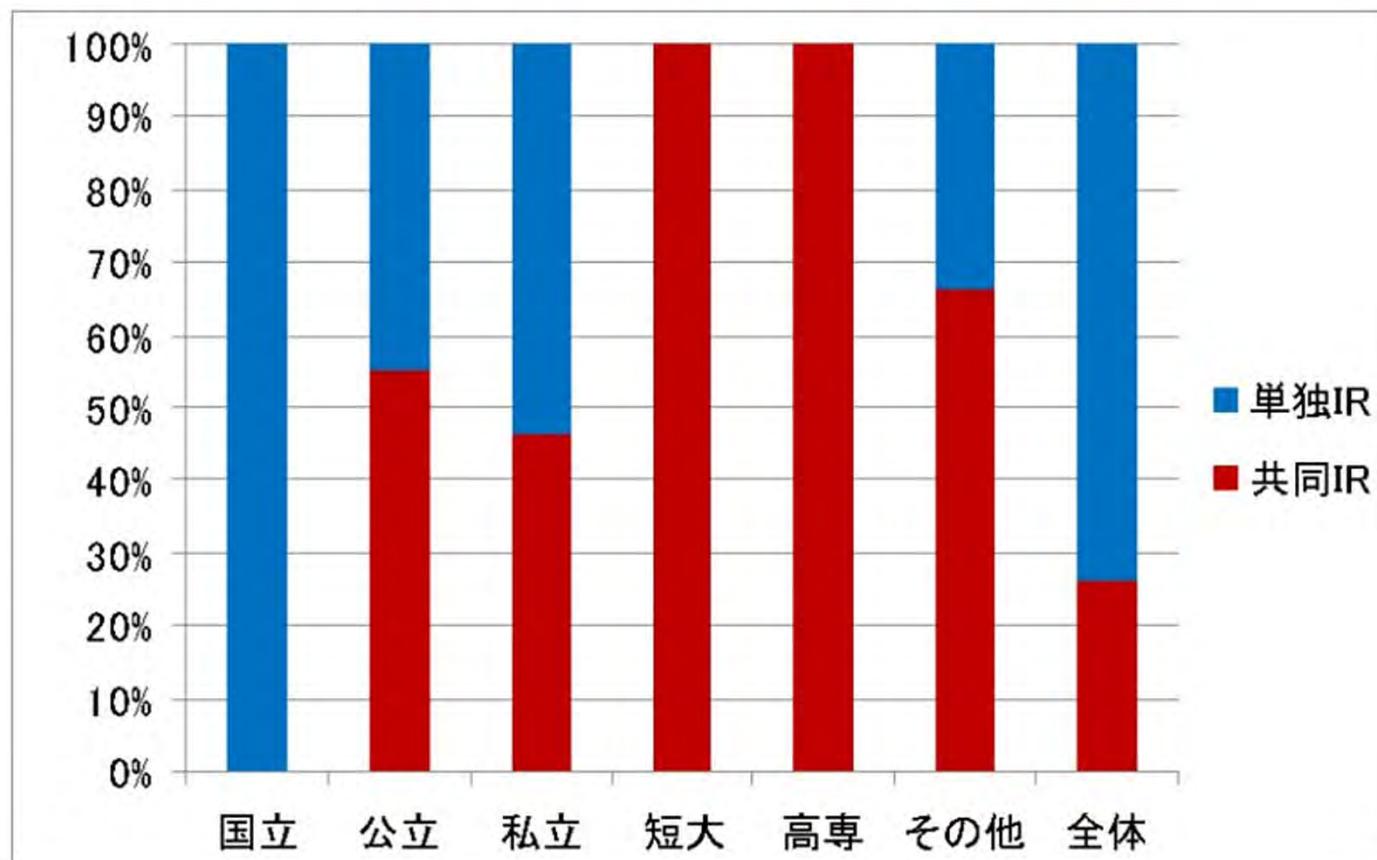


出典：IRDB コンテンツ分析システム <http://irdb.nii.ac.jp/> (2010 年 1 月 31 日現在)

共同リポジトリプロジェクト報告書 <http://www.lib.hiroshima-u.ac.jp/share/seika/ShReReport.pdf>

# 共同リポジトリの現在

図 1-3 機関リポジトリ構築数に占める共同リポジトリの割合（設置種別）



# 重要なことは

- 持続する体制作り
- 県域のコミュニティ形成
  - 勉強会
  - メーリングリスト
  - (リポジトリを含めて) 何でも聞ける仲間をつくる
- そのコミュニティで解決しなければ、DRFへ

「ホスト機関に全部お任せ」は...無理

**機関全体の事業  
とするために**



# 巻き込み作戦

- 他部局(事務方)を巻き込む

- 学務
- 研究協力
- 社学連携・広報

# 巻き込み作戦2

- 教員・研究者を巻き込む
- 先生と最も近い場所＝図書館カウンター
  - 千葉大学の例：リエゾンライブラリアン
  - ILL受付データのうち、自機関関係をチェック
- 記念インタビュー
  - とにかく、先生の話を聞きに出かけていく
- マスコミ・プレスリリースとの連動

# 京大の事例：賞をとつたら…



京都大学 | 図書館機構

検索



京都大学

KYOTO UNIVERSITY

Japanese | English

Google Custom Search

> ホーム

ブラウズ

> 研究科等一覧

> タイトル

> 著者

> キーワード

> 日付

> アクセスランキング

> アクセス統計

KURENAI  
Update

KURENAI  
Update!

Kyoto University Research Information Repository >

京都大学学術情報リポジトリ(KURENAI)では、京都大学で日々創造される研究・教育成果(学術雑誌掲載論文、学位論文、紀要論文など)をWeb上で公開しています。

■収録論文: 8万件以上 ■収録雑誌: 90誌以上 ■論文ダウンロード: 年間80万件以上(2009年)

KURENAI update! [PDF 10]

2011/02/10 京都大学人文科学研究所の学術誌3誌の最新号を公開

2011/02/08 『西洋古代史研究』をKURENAIから提供開始

2011/02/07 『英文学評論』をKURENAIから提供開始

2010/12/16 突発性難聴に新しい治療法。世界が注目する論文を、KURENAIでも

2010/12/09 『人間存在論』をKURENAIから提供開始

2010/03/05 KURENAI収録論文数が5万件を突破! / 【特別インタビュー】生命科学研究科・標葉隆馬さん(博士後期課程)

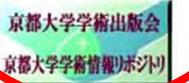
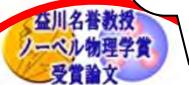
過去のお知らせ

研究科等一覧

下記のリンクより学位論文および研究科等で発行する学術雑誌や紀要にアクセスできます



受賞論文・  
人気コンテ  
ンツ



京都大学学術情  
報リポジトリ総合  
案内サイト(登録  
の方法など)

DSpaceに関する  
技術的なメモ

RSSフィード

# KURENAI\_update

2010年12月16日(木曜日)

突発性難聴に新しい治療法。世界が注目する論文を、KURENAIでも

カテゴリー: General - dlkyoto @ 13時28分52秒

京都大学学術情報リポジトリKURENAIで、2010年11月30日に京都大学がプレスリリースを発表した研究成果「突発性難聴に対するIGF1治療について」(医学研究科 中川隆之講師らの研究グループ)の論文の全文を公開しました。Biomed Centralサイトで現在'Highly accessed'と表示されており、世界的に注目を集めている論文であることがわかります。  
突発性難聴の患者は国内だけで年間約3万5千人と言われています。皆さんの周りにも、ストレスなどで急に耳が聴こえにくくなったという方がいるのではないかでしょうか。今回の研究成果も、有効な治療法として確立されることが期待されます。

Nakagawa T, Sakamoto T, Hiraumi H, Kikkawa Y, Yamamoto N, Hamaguchi K, Ono K, Yamamoto M, Tabata Y, Teramukai S, Tanaka S, Tada H, Onodera R, Yonezawa A, Inui K, treatment using gelatin hydrogels for glucocorticoid-resistant sudden deafness: results of a prospective clinical trial. BMC Medicine 2010;8(1):76. doi:[10.1186/1741-7015-8-76](https://doi.org/10.1186/1741-7015-8-76). (オープン・アクセス)  
KURENAI URL: <http://hdl.handle.net/2433/131862> (オープン・アクセス)

今回の研究成果は、新聞各紙・報道でも広く取り上げられています。

- 突発性難聴の再生医療、半数が症状改善 京大、日本経済新聞(Web). 2010.11.30.
- 薬剤入りゲル、突発性難聴に効果 京大講師ら試験、京都新聞(Web). 2010.12.01.

◆KURENAI(京都大学学術情報リポジトリ)



Kyoto University Research Information Repository

- 現在約8万件以上の京大研究者の論文を提供

京大翻訳! <http://www.s-coop.net/smartrans.html> 「百万遍」が Million times なりません。[S]

[Update] 京都大学人文科学研究所の学術誌の最新号を公開。京都大学学術情報リポジトリKURENAIで、京都大学人文科学研究所が発行する学術誌の最新号を登録しました。■ZINBUN 発行:京都大学人文科学研究所 <http://hdl.handle.net/2433/135406> [S]

KURENAIは、学位論文もアーカイブして公開しています。京都大学で学位を取られた皆様の論文もぜひご登録ください。<http://bit.ly/gS6t2> [S]

【本日の論文】とれたてです。山本勝史「下洞接近を特徴とする定置型イデコ収穫ロボットの開発」2011年1月24日 学位授与 京都大学博士論文 <http://hdl.handle.net/2433/135406> [S]

127 133 28  
フォロー フォロー リツイート  
している されている

ツイート 119  
お問い合わせ

リスト

RSS→twitter

# 小樽商科大の事例：インタビュー

# インタビューページ

Barrel >

## Barrel登録記念インタビュー

Barrelは、小樽商科大学研究者の皆さまからご寄贈いただいたご著作論文など研究成果を、図書館資料として大切に保存するとともに、Webで本文を無料公開して可視性を高めるお手伝いをするものです。

Barrel登録を記念して、2010年4月に小樽商科大学に赴任された企業法学科の南健悟先生にお話を伺いました。



Q: 商大の印象はどうですか？

まずは、坂を上ってくるのが大変ですね(笑)母校の静岡大学も山の上にありましたから、小樽商大はそれと比べてもかなり辛いです。家からバス停までは遠いので、毎朝汗だくになりながら歩いて上っています。あと、商大は学生が元気ですね。サークルや部活をやっている人が多いですし、学内に限らず、学外でも積極的に頑張っているのに感心しています。



Q: 先生の研究内容について教えてください。

商法が専門ですが、その中でも会社法を研究対象としています。会社法とひと口に言っても広いので細分化して述べますと、「法令遵守体制の構築義務」、いわゆるコンプライアンスについて研究しています。株式会社の法令違反を抑制するようにするためにどうしたらよいか、について主に考えています。「法令遵守体制の構築義務」は会社の取締役に課せられている義務であり、具体的には、会社内の人々が法令に反しないようにする体制を構築するにはどうしたらよいか、そして違反があった場合に取締役はどのような対処をすればよいか等を分析するのです。

例として、ダスキン株式会社の経営するミスターードーナツが起こした事件を挙げてみます。ミスターードーナツで販売している肉まんに、食品衛生法で認められない添加物が使われていたという問題が以前、持ち上がったことがあります。裁判では、食品衛生法に反しない形で会社が業務をおこなえる体制があったかどうかについて争われたのですが、この際、取締役がそのことを隠し通そうとしたことについて、裁判所は取締役に厳しい判決を下しました。このような法的問題について研究しています。

Q: ご担当の講義について教えてください。

前期は、専門ゼミと基礎ゼミを担当します。基礎ゼミは主に1年生ですので、図書館の使い方や、新聞記事を読んで文章を要約したり、専門書を読み、総合的に報告したり、といった内容の授業を行います。

# 北大の事例

## 観光学高等研究センター × 地域の共同研究の発信 プラットフォームとして活用

“Washipedia”

This screenshot shows the homepage of the Washipedia website. It features a large banner at the top with the text "Washipedia" and "Washipedia". Below the banner, there are several sections: "最新情報" (Latest Information) with a link to "2009年11月6日★開通記念!★"; "研究" (Research) with a link to "2009年10月10日★"; "研究" (Research) with a link to "2009年10月10日★"; "研究" (Research) with a link to "2009年10月10日★"; and "研究" (Research) with a link to "2009年10月10日★". The page also includes a sidebar with links to "ホーム", "コレクションについて", "コレクション一覧", "研究料金算出", "研究者登録", "研究者登録", "研究者登録", and "研究者登録".

This screenshot shows a journal article from the HUSCAP website. The article is titled "Study of Birth and Development of 'S Fans': Discussion of Tourist Promotional Work 'Lucky Star' Focused on Washi Prefecture" by 山村, 高淑, published on 2B-Nov-2008. The article is available as a PDF file (1.75 MB). The URL for the article is p145-164yamamura.pdf.

HUSCAP

Original Journal

Web-Journal of Contents Tourism Studies

コンテンツツーリズム研究会ウェブジャーナル

「コンテンツツーリズム研究」

『コンテンツツーリズム研究』は、2011年1月より、「コンテンツツーリズム研究」に名称を変更致しました。  
引き続きのご支援、宜しくお願い申し上げます。

2011年1月8日  
管理人

★本ページから『コンテンツツーリズム研究』を閲覧される皆様へ★



『コンテンツツーリズム研究』に掲載された全ての論考はCreative Commons 表示-非営利-共有 2.1 日本 Licenseによって規定されています。  
詳しい利用条件に関してはライセンス頁を参照してください。

- ◆No.001◆岡本健「コンテンツツーリズム研究序説：情操社会に対する批判的新たなあり方とその研究概念の構築」(2011年1月3日)
- ◆No.002◆木村ゆみ「歴史撮影地における歴史現象の可否性に関する考察」-撮影地間違情報に焦点を当てて- (2011年1月3日)
- ◆No.003◆玉井健也「地域イメージの歴史的資源とアーバン地盤災害-鎌倉を事例として-」(2011年1月3日)
- ◆No.004◆釜石直裕「アーバン地盤災害型まちづくりにおけるバベルの役割に関する研究-釜石市大上郡豊浦町における「せいおんがく！ライブ」を事例として-」(2011年1月3日)

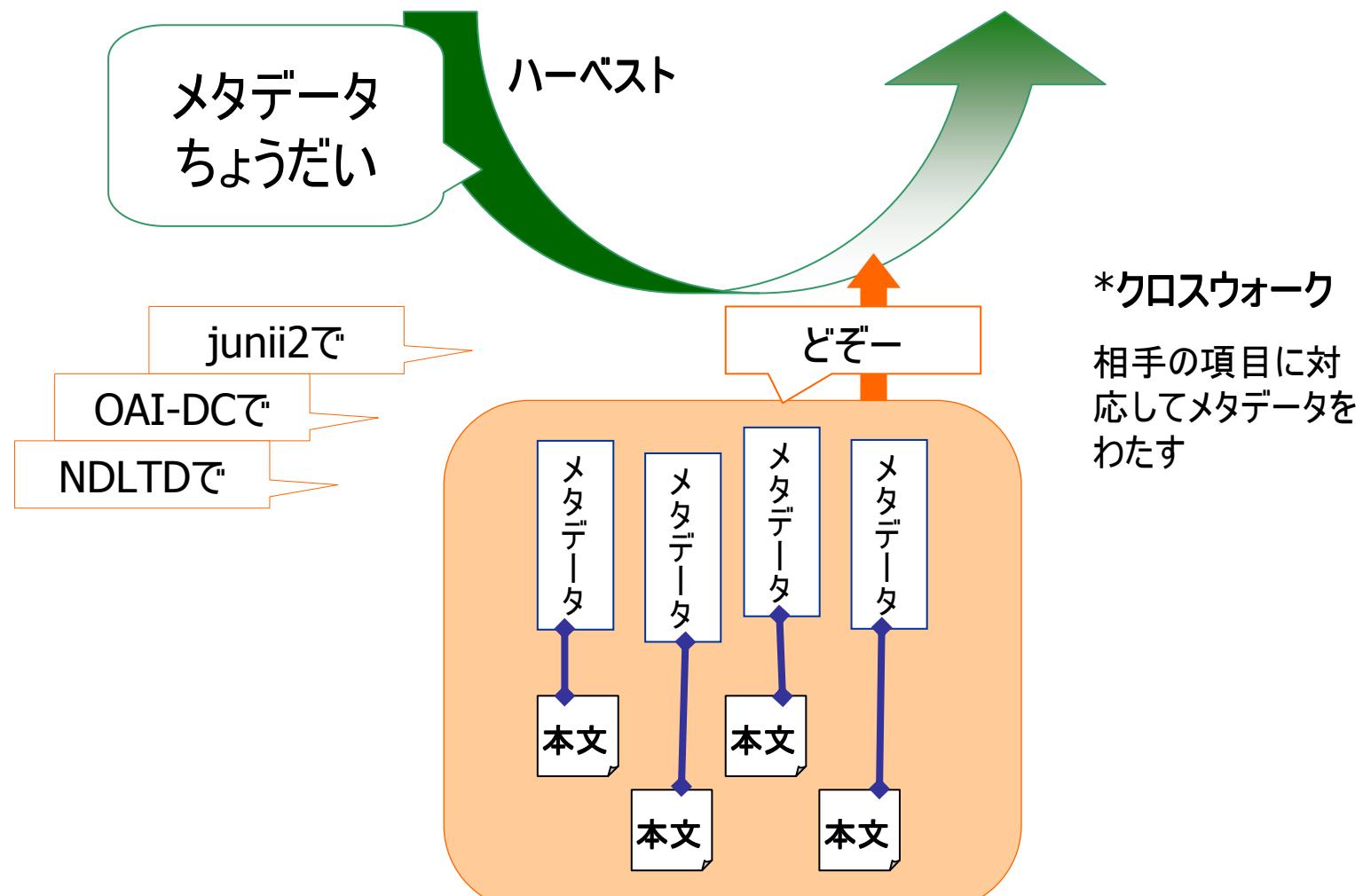
旧文化資源マネジメント論集【バックナンバー】

山村, 高淑『地域と研究者を結ぶプラットフォームとしてのリポジトリの可能性：研究成果を地域に還元するためのHUSCAP活用の試み』(2009.11.27第5回DRFワークショップ発表) より <http://hdl.handle.net/2115/39834>

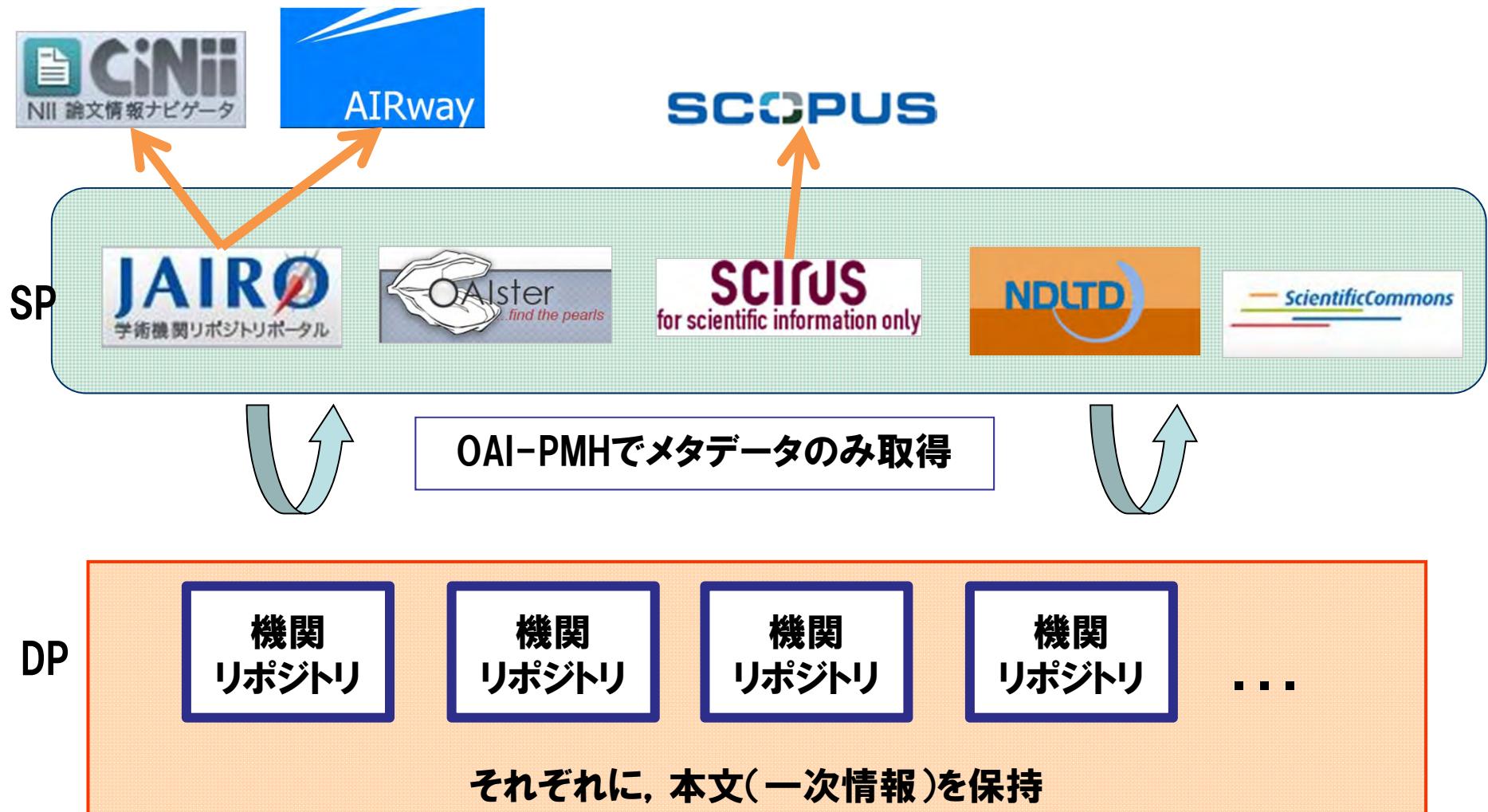
# 業務の実際



# ちょっと、リポジトリのしくみ



# ちょこっと、リポジトリのしくみ2



# 著作権

ポイント：

- 誰が**著作権**を持っているか
- 誰が**登録**したがっているか

✓ SHERPA/RoMEO

✓ SCPJ

# 悩んだら

みんな仲間です

- とりあえず誰かに聞く
  - DRF
  - 隣の大学
  - UsrCom(匿名で質問ができる)
- その悩みは、みんな持ってる

「たのしい」はたたしい

ご清聴ありがとうございました。

